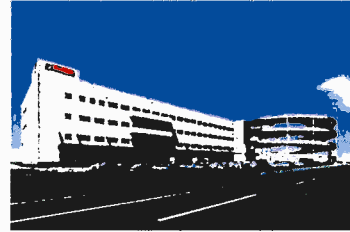


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新京都郵便処理施設(仮称)新築工	階数	地上5F
建設地	京都府城陽市久世荒内・寺田塚本	構造	RC造
用途地域	工業地域・準防火地域	平均居住人員	385 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年6月16日
敷地面積	40,748 m ²	作成者	鈴木章浩
建築面積	16,720 m ²	確認日	2016年6月16日
延床面積	47,885 m ²	確認者	畑本安幸



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
京都府城陽市に計画された郵便処理施設である。 高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・取り入れ外気は排気口と離隔距離を十分確保し、空気質環境に配慮する。	・耐用年数の長い内装材、配管材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 ・リフレッシュスペースを計画する等、居住者の快適性に配慮している。	・敷地内の広範囲に植栽を施すことにより、景観に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・高効率な設備システムを導入し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	・節水器具を積極的に採用し、水資源の保護に配慮している。 ・再利用可能な部材を採用し、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	・駐輪場・駐車場の計画は利便性、交通渋滞緩和に配慮している。 ・屋外照明の計画は、周囲への漏れ光に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される